

# 2021 年上半期の米国 VC 投資動向

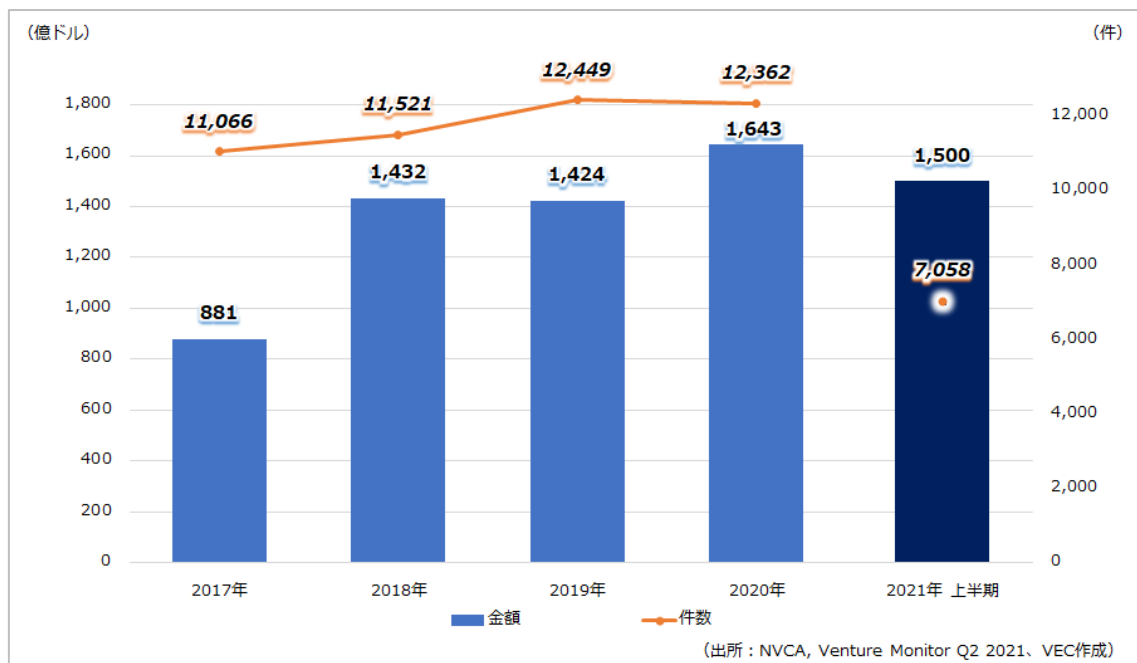
NVCA の Venture Monitor (Q2 2021) に基づき、米国の 2021 年上半期 VC 投資動向を概観する。

## 1 VC 投資

### (1) 投資金額・投資件数

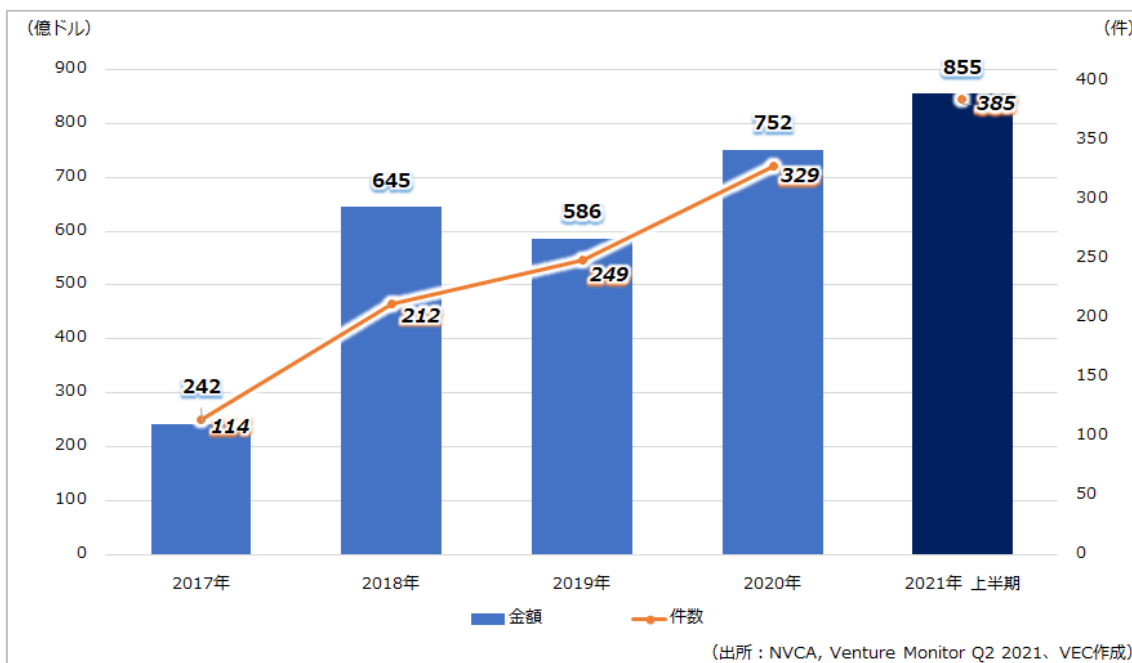
2021 年上半期 (1 月～6 月) の米国の VC 投資は 7,058 件で 1,500 億ドルを記録し、金額については、すでに 2020 年の通年実績 (1,643 億ドル) の 90%以上に達している (図表 1)。

図表 1 VC 投資の推移 (金額・件数)



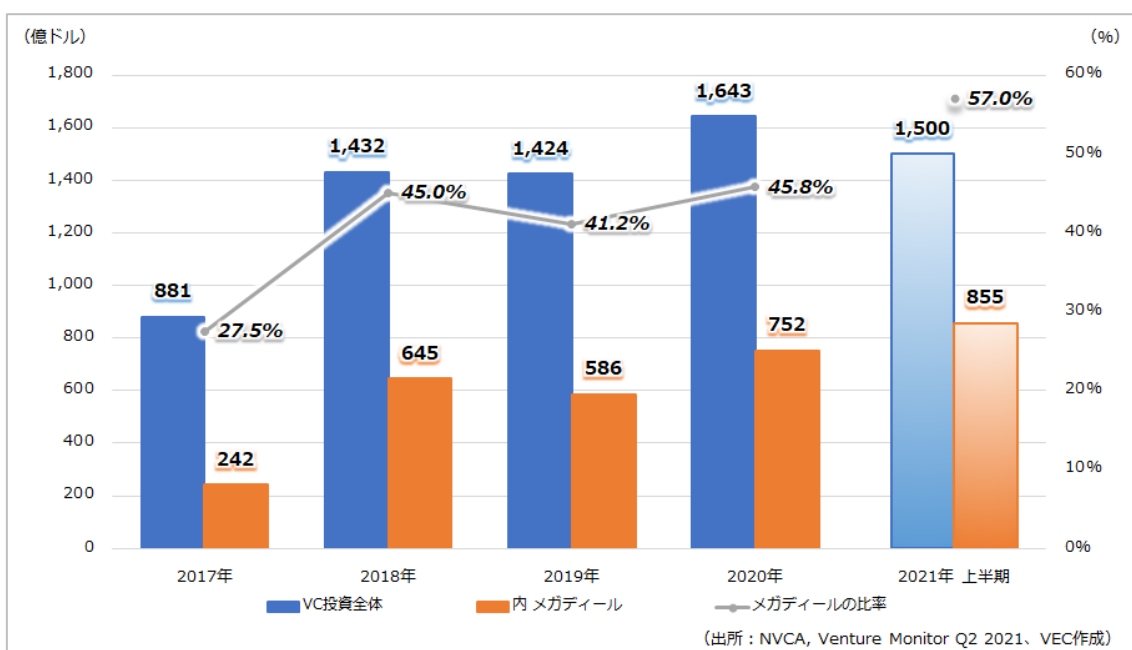
米国の VC 投資額が伸びた要因として、メガディール (1 億ドル以上の大型投資) が大幅な伸びを示したことが挙げられる。2021 年上半期のメガディール投資は 385 件で 855 億ドルに達し、残り 6 か月を待たずに金額・件数ともに年間の新記録を樹立している (図表 2)。

図表 2 メガディール取引の推移（金額・件数）



なお、メガディール取引の投資金額は、2017年の242億ドルから2020年の752億ドル、2021年上半期の855億ドルと大幅な伸びを示しているだけでなく、VC投資全体に占めるメガディールのウェイトも2017年の27.5%から2021年上半期の57.0%へと、大きな伸びを示している（図表3）。

図表 3 VC投資金額全体に占めるメガディール投資金額のウェイト



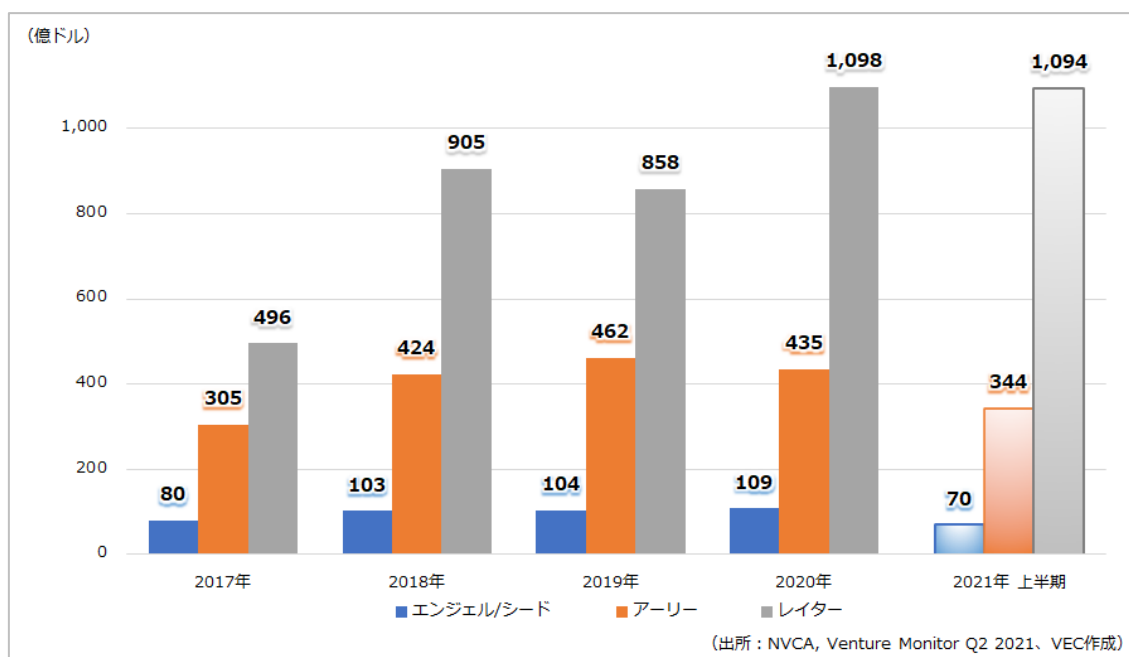
## (2) ステージ別投資金額

2021年上半期の米国VC投資金額をステージ別にみると、「エンジェル/シード」「アーリー」「レイター」のそれぞれのステージで、すでに2020年の通年実績対比、64.2%、79.1%、99.6%と高い水準に達している。特に「レイター」は、この6か月間で、ほぼ前年並みの投資額を記録している（図表4）。

各ステージへの投資について、Venture Monitor では次のように記している。

- 「エンジェル/シード」への2021年上半期の投資額は、NVCAの過去の数字をみるかぎり、半期の数字としては最も高い数字であり、今後もしばらくは高水準が続くだろう。
- 「アーリー」については、足元のベースから推計すると、2021年は通年で600億ドルを超すとみられており、この600億ドルという水準は、これまで「レイター」以外では記録されたことのない数字である。
- 「レイター」は、すでにこの6か月間で年間既往ピークの2020年の1,098億ドルにほぼ並んでいることから、2021年の「レイター」への投資額が新記録を樹立することは明らかである。一方、投資件数についても、2021年上半期は前年同期比で47%増加しており、2021年通年の「レイター」の投資件数が既往最高を更新することは確実とみられる。

図表4 ステージ別投資金額の推移



(注) 2021年上半期の全ステージの投資額合計を算出すると1,508億ドルとなり、図表1の2021年上半期の1,500億ドルより多くなるが、いずれのデータもVenture Monitorが公表した数字を使用。

### (3) 投資家の多様化

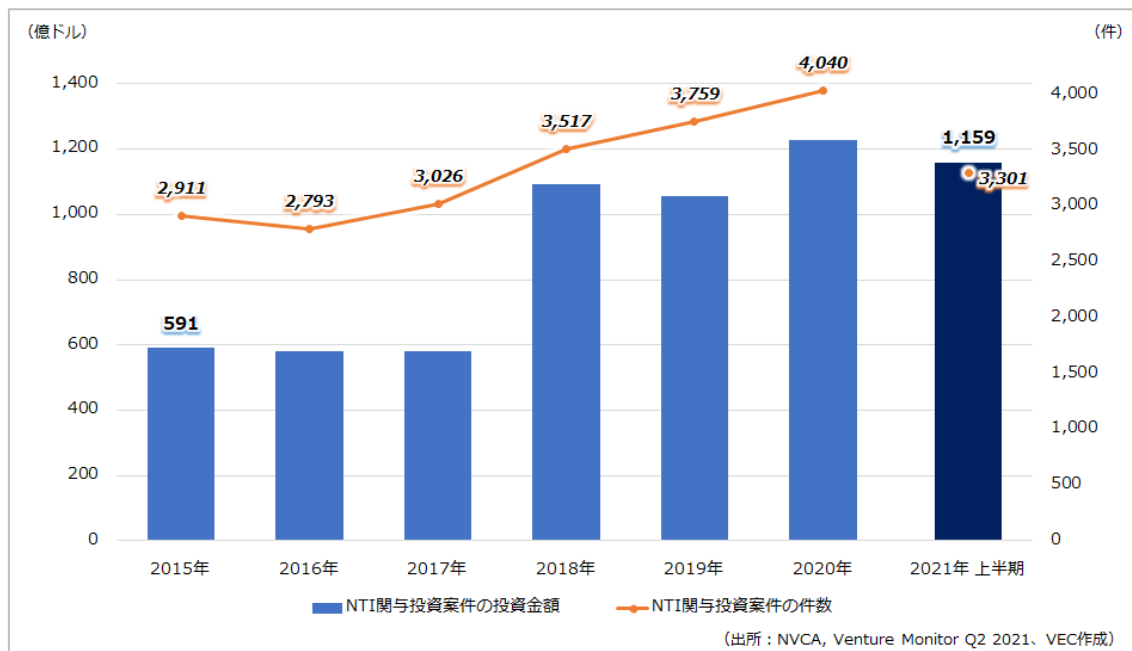
従来の VC とは異なるタイプの非伝統的投資家<sup>(注)</sup> (NTI=Non-Traditional VC Investors) による投資が近年大幅に増加していることが注目されている。なお日本でも 2021 年上半期には、これと同様の動きがみられるようになった。

(注) 非伝統的投資家 (NTI) には、事業法人や CVC の他、PE ファンド、パイアウトファンド、グロースファンド、メザニンファンド、ミューチュアルファンド、ヘッジファンド、クロスオーバー投資家などが含まれる。

米国では、これら NTI による投資の勢いはますます強まっており、2021 年上半期に NTI が関与した投資案件の件数は推定 3,301 件で、すでに 2020 年通年の既往最高件数 4,040 件の 81.7% に達している。

Venture Monitor によれば、これら NTI の VC 投資への顕著な関与は比較的新しい現象で、NTI 関与案件の投資金額合計は、2018 年に初めて 1,000 億ドルの大台を突破したが、これは 2015 年に記録した当時の既往最高の 591 億ドルのほぼ 2 倍であり、それ以来 4 年連続で 1,000 億ドル超の高水準が続いている。なお、2021 年上半期の NTI 関与投資案件の投資金額合計は 1,159 億ドルに達しており、6 か月間ですでに 2020 年通年の合計金額にほぼ匹敵する水準に達している (図表 5)。

図表 5 非伝統的投資家 (NTI) の関与投資案件の推移 (金額・件数)

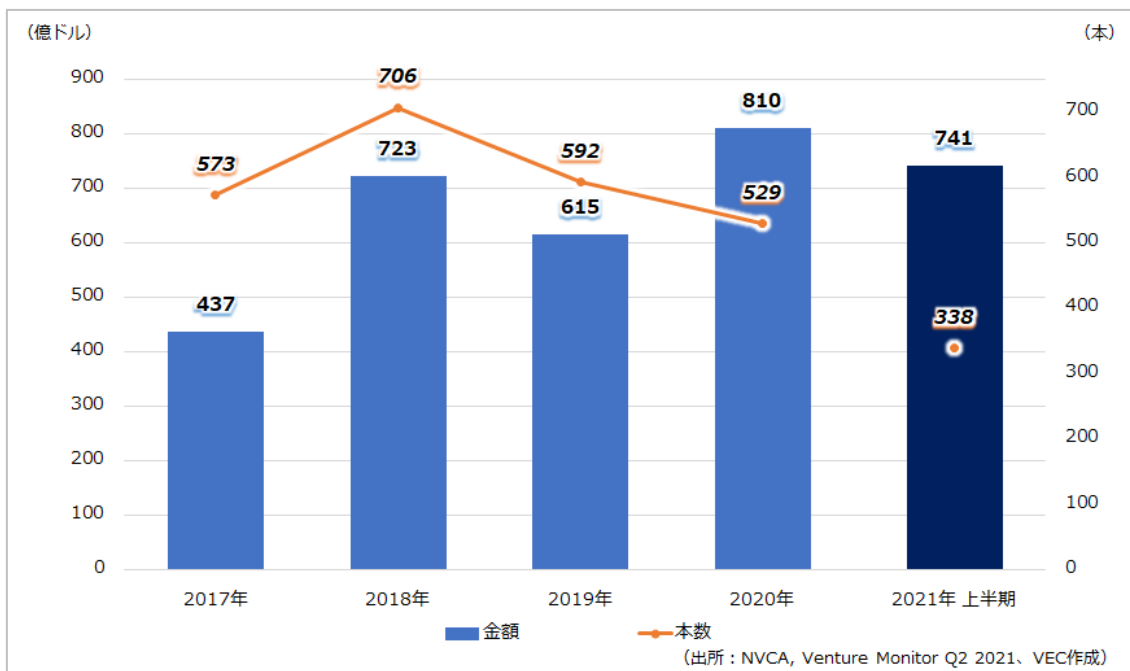


(注) Venture Monitor のレポートには、NTI 関与投資案件の投資金額として 2015 年の 591 億ドルと 2021 年上半期の 1,159 億ドルしか開示されていない。このため、2016 年~2020 年の投資金額は、棒グラフのみの表示とした。

## 2 VC ファンド組成

2021 年上半期の米国におけるファンド組成の動きは好調で、338 本のファンドで 741 億ドルの資金を集めている。この上半期のファンド組成額は、2020 年に記録した既往ピークの年間 810 億ドルにほぼ近づいており、2021 年の年間ファンド組成額は 1,000 億ドルをクリアすることが確実視されている（図表 6）。

図表 6 VC ファンド組成の推移（金額・本数）



この巨額なファンド組成額は、ファンド本数の増加によるというよりも、少数の超大型新規ファンドに起因するものようだ。Venture Monitor によれば、2021 年上半期に組成されたファンドサイズの中央値は 5,060 万ドルで、2020 年の中央値である 5,040 万ドルと、ほぼ横並びの水準にあるという。一方、ファンド 1 本当たりの平均値をみると、2021 年上半期の 2.2 億ドルは、2020 年までの平均値と比べて、突出していることがわかる（図表 7）。

図表 7 平均ファンド金額の推移

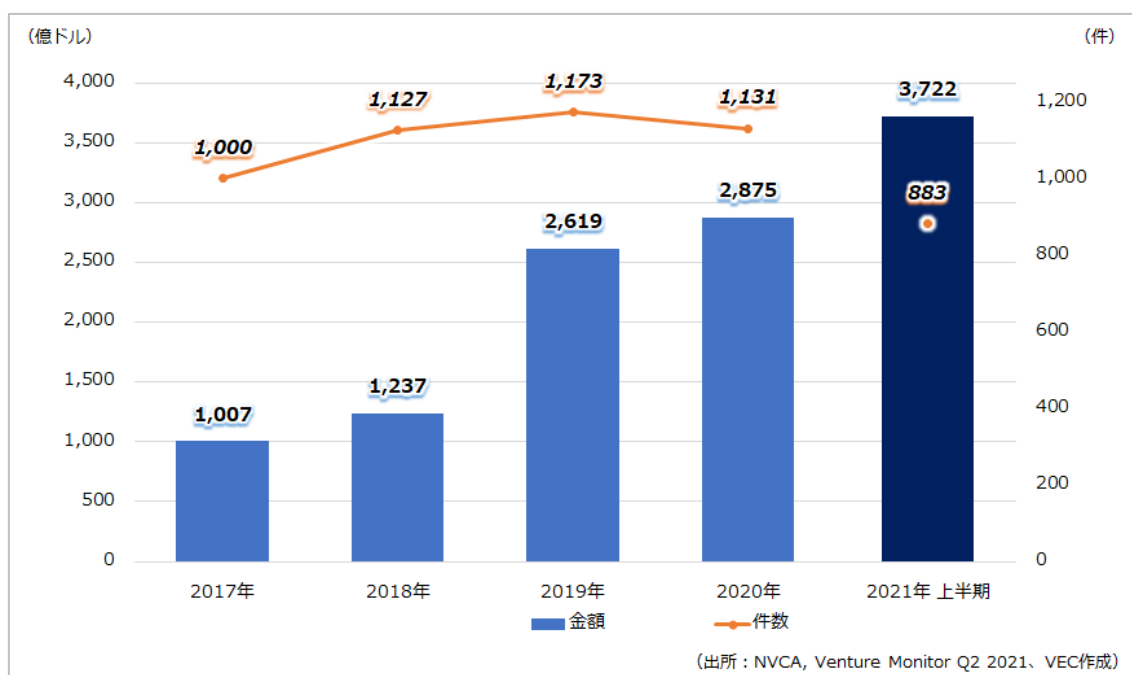
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 上半期
ファンド金額 (億ドル)	437	723	615	810	741
ファンド本数 (本)	573	706	592	529	338
平均ファンド金額 (億ドル)	0.8	1.0	1.0	1.5	2.2

(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2021、VEC作成)

### 3 Exit

2021年上半期のExit価額は3,722億ドルに達しており、これは2020年に記録した年間既往ピークの2,875億ドルをすでに30%近く上回っている。Exit件数もこれまで以上に強含みの推移で、2021年上半期の6か月間で推定883件を数えており、2021年通年では新記録の更新が確実とみられている（図表8）。

図表8 Exitの推移（金額・件数）



こうしたExitの好調を後押しした要因として、特別目的買収会社 (SPAC) の存在がある。Venture Monitorによれば、IPOに占めるSPACによる逆合併は、2020年通年で33件だったものが、2021年は上半期だけで34件に達しているという。2021年第2四半期には、SPACによるIPOの動きは鎮静化してきたとはいえ、すでに集めた資金には投資期限が設定されているため、少なくとも2021年の残りの期間については、引き続きSPACがIPOの追い風となるものとみられている。

一方、M&Aも2021年は力強い足取りで、Venture Monitorによれば、2021年上半期のM&Aは435件を数えており、これは、過去10年間でM&Aが最も活発だった時期の年間800件超の水準と同じペースだとしている。特に大型M&A (1億ドル以上) が増えているという。

以上